

「入庁後に考えたこととこれからの目標」

京築県土整備事務所
技師 江崎 大綺

自分は大学に行ってまで勉強したくないとずっと思っていて工業高校に入り、そして試験に合格し、福岡県庁に入庁した。配属先はまだ分からなかったが、合格したのが嬉しすぎて友だちとはしゃぎ合ったのを今でも覚えている。

だが社会人というのはそんなに甘いものではなかった。いざ働いてみるとわからないことだらけで驚いた。はじめは、高卒というものの一応土木科を卒業しているから、何とかやっていけるだろうと考えていた。しかし高校に習ったこと以上に難しいことばかりで苦勞している。一つの設計書を作るのにも時間をかけてしまい係長や課長に迷惑をかけてしまう。設計書作成に慣れるまでにはまだ時間がかかるだろう。

しかし、働き始めて半年、できないことだけでなく、もちろんできるようになったこともある。それは電話対応だ。初めはろくに取らず、取ったとしても言葉づかいがなっていないなかったりした。しかし、今では係の誰よりも先にとり、言葉づかいも自分で言うのはあれだが丁寧になったと思う。また積極的に歩掛なども読み込むようになり、日に日に知識も蓄えている。だが相変わらず設計書の作成には時間をとられている。

ここで目標ができた。その目標とは、設計書を短時間で作れるようになることだ。同じ係に技術主査の人がいるが、この人が優秀すぎてすごい。自分の聞いたことは何でも知っているし設計書も何事もなくさばいている。今の自分では間違いなくこの主査の人のようにはなれないだろう。だから、これからはいろいろな経験を積んで知識を蓄えて仕事を早くさばいていけるようになりたい。そしていずれは後輩たちにいろいろなことを教えられるような人に私はなりたい。